



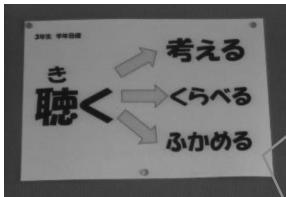
「**今月(6月)のお話**」より 二宮金次郎の前の花壇にある、種から育てた「ヒマワリ」と「マリーゴールド」が、今日も綺麗です。
6月4日は、国府小学校の153回目の「開校記念日」です。3年前に体育館で行われた開校150周年記念式典や、150周年記念のお祝い
 国府中から打ち上げられた花火を見た4年生から6年生の人はすでに知っていると思いますが、今年もまた新しく1年生が入ってきたので
 お話をします。国府小学校は明治6年、6月4日に誕生しました。明治6年は、日本で「学制」という法律が施行された年で、全国各地に
 小学校ができ、国府小学校もそこから建てられた、歴史と伝統のある小学校です。国府小学校が誕生した場所は、1年生が春の遠足に行っ
 た、生沢にある「東昌寺」というお寺で、そのころは、「思文館(しぶんかん)」と呼ばれていました。明治11年に、今のこの場所に校舎が
 建てられ、35年ほど前に現在のオープンスペースの校舎に建て替えられました。(以下省略)←**今月も全校児童でとても静かに聞いていました。**



1年生 6月は、保健師さんによる、歯科指導がありました。歯磨きの大切さを教えてもらいました。
 生活科では、グループに分かれ、校内の先生達に、とても上手にインタビューをしていました。



2年生 生活(町探検)で、国府地区を歩きました。坂道を登って石神台の公園まで行ったり、少し遠かったのですが、大磯プリンスホテルにも歩いて行きました。(写真は大磯警察署での様子です)実際に行ってみることで、地区のいろいろな様子に気付くことができています。



3年生学年目標
 「聴くことができる子」は、今年の国府小ランドデザインの「目指す子の姿」にもあります。学年目標にある通り、3年生には、ここからさらに、「考える・比べる・深める子」になってほしいです。



4年生 書写では、校歌にもある、「雲上がる雲上がる」の「雲」を書きました。写真は、プールの授業中、鷹取山にかかった綺麗な「雲」の様子です。



5年生 写真は、渡り廊下の「バケツ稲」の様子です。
 最初は牛乳パックの中で育てましたが、今はバケツの中で元気に育っています。



6年生 昭和の頃に教室で使っていた古い机を、校務整備委員さんが綺麗に塗りなおして6年スペースに置いてくれました。学習で使ったり、ちょっとした憩いの場にもなっています。
 ここにこ班では、最上級生らしく、しっかりと下級生をリードし、普段の生活でも、低学年とよく遊んでくれている姿が見られます。
 今年も6月末から体験入学の児童がアメリカから来て、5年目となる交流をしています。



なかよし
 どんどんパワーアップしている怪物?たち。なかよし級の前を通る児童も、思わず歓声を上げています。



5月29日に行われた学校運営協議会(コミュニティ・スクール)にて「令和8年度国府地区ランドデザイン【国府小】」が承認されました。
 「**平和でおだやかな国府地区**」を目指し、特に今年は「**季節感を大切に豊かな心を育む**」ことを重点目標としました。(別紙にて配付しております)

2年に一度の「大磯町幼保小中高一斉避難訓練及び引き渡し訓練」が実施されました。写真は、最上階(3階)に全児童が避難する様子です。1年生から6年生までが、数分間で、全員、静かに3階まで避難することができました。23日の「火災避難訓練」も、素早くグラウンドに避難していました。

7月の猛暑を避けるために、今年度は6月の第2週から水泳学習が始まりました。梅雨の時期でなかなか予定通りの日程ではありませんでしたが、ボランティアの皆様にも授業に入っていただき、安全に気を付けながら指導をしてきました。国府地区には、海も川もプールもあります。夏休みに入る前に、しっかりと学んでほしいと思います。



国府小のシンボル「くすの木」

全体のバランスを整えるため、昨年度の2月に剪定したクスノキに、ここで新芽がたくさん生えてきました。
 国府小の子ども達も、くすの木のように、すくすくと、大きく成長してほしいと願っています。